

宝が池公園「新・子どもの楽園」整備について

宝が池公園「子どもの楽園」は、昭和39年の開設以来、四季を通して多くの子どもたちや家族連れの皆さんに親しまれ、利用されてきました。

京都市では、施設の老朽化が進んでいることに加え、子どもが自然や人とふれあい、伸び伸びと遊び学べる安心・安全な「遊びの拠点」を整備するため、このたび、拡張・リニューアル工事を内容とする「新・子どもの楽園」整備事業に着手しますので、お知らせします。

記

1 「新・子どもの楽園」の概要

(1) 3つのゾーン

「プレーパークゾーン」、「大広場ゾーン」、「遊具ゾーン」の3つのゾーン区分により整備する。

①プレーパークゾーン … 新設 【敷地を約10,000㎡拡張して整備】

- ・ 子どもたちが豊かな自然環境の中で「自分の責任で自由に遊べる場」
- ・ 遊具や遊び方を初めから与えるのではなく、子どもたちが試行錯誤、創意工夫しながら、遊びを発見する場
- ・ 遊びの指導者として、ボランティアによるプレーリーダー(※1)、森林インストラクター(※2)を配置

ア 面積

約10,000㎡

イ 主な内容

【プレーパーク】

- 樹木、落ち葉、小石など自然の資源が豊富な遊び場
- 具体的な遊び方のイメージは、ネイチャーゲーム(※3)やパンづくりなど

【ものづくりハウス】

- 約50㎡の1階建てログハウス
- 木・土・水などを素材に、プレーパークで遊ぶための道具づくりや、園路整備に使用する杭、本棚・竹トンボ等の木工・竹細工など、「ものづくり」を楽しく学べるハウス

【※1～※3は、別紙参照】

~~ プレーパークゾーンのイメージ ~~



こまづくり



ダンボール迷路



パンづくり



ハンモック

②大広場ゾーン

ア 面積

約 12,500 m²

… 芝生広場 北側 5,500 m² + 南側 2,700 m²

土の広場 4,300 m²

イ 主な内容

【芝生広場】

- 子どもたちが伸び伸びと走りまわったり，家族でお弁当を囲みくつろいだりできる広場
- 北側の芝生広場は，老朽化した遊具を撤去すると同時に，現在の植樹帯や土の部分を整備し，広々とした一面緑の空間を確保
- 南側は，幼児向け遊具を撤去し，芝生広場を新設

【土の広場】

- 現在同様，ドッジボール，バドミントンなどのスポーツも楽しめる，子ども同士で遊ぶ広場

③遊具ゾーン

既存の遊具類は、ランドマーク的役割を果たしている「夢の山」・「迷路」を除き全て撤去し、より安全な使いやすい遊具に新調

ア 面積

約 7,600 m²

イ 主な内容

【親水空間】 … 新設

- 1年中水に親しめる噴水を備え、5月～10月頃には水遊びも楽しめる親水空間を設置

【屋根付き広場】 … 新設

- 雨天時や真夏日でも、安全に過ごせる広場
- ちびっこコンサートなど、イベント会場としても使用

【土の丘】 … 新設

- ボールや泥団子を壁に投げたり、壁の上を走ったりできる遊び場

【夢の山】 … 再整備

- 滑り台部分を新調

【幼児の遊び場】 … 再整備

- 現在の大砂場部分に、シーソー・滑り台等の幼児向け遊具を新調する。

(2) その他の整備等

3つのゾーン以外の駐車場、園路部分等についても、必要な整備を行う。

ア 駐車場 … 拡大

不法駐車の問題を解消するため、建設以来58年を経た老朽化の著しい旧競輪場のスタンドを撤去し、駐車場を設置

- 面積 3,600 m²
- 収容台数 150台 ← 現在55台

イ 四阿（あずまや） … 新設

遊んでいる子どもたちを見守れる2箇所、四阿を設置
(遊具ゾーン・大広場ゾーン)

ウ トイレ … 機能充実（新築）

ベビールームを備えたトイレを設置

2 整備区域等

(1) 所在地

左京区松ヶ崎城山 他

(2) 面積

約 43,000 m² ← 現行約 33,000 m²

【 プレーパークゾーンを拡張 】

3 運営

プレーパークを中心とした「遊びのプログラム」やイベントなど、ソフト事業の実施に当たっては、プレーリーダーの皆さんや子どもの健全育成活動を行っているボランティア団体と協働し、運営する。

4 事業費

約6億6,000万円

5 今後のスケジュール

平成18年5月8日	子どもの楽園区域の閉園
平成18年度	実施設計 旧施設の撤去 基盤施設整備工事
平成19年度	公園施設整備 駐車場整備
平成20年1月	部分開園
平成20年3月	完成

【参考1】用語解説

※1 プレーリーダー

- ・ 大人や青少年のボランティアから成る，遊びの指導者
- ・ 子どもたちとともに，手作りの遊具の作成や遊びのメニューの考案を行うなど，遊びの環境を整える役割を担う存在
- ・ 子どもの先頭ではなく「横」に立ち，遊びを見守りながら，子どもが困ったときや怪我をしたときには対応する。

※2 森林インストラクター

子どもたちに，森林での安全な過ごし方や楽しみ方を教え，森林の案内や森林内での野外活動の指導，アドバイスをを行う。

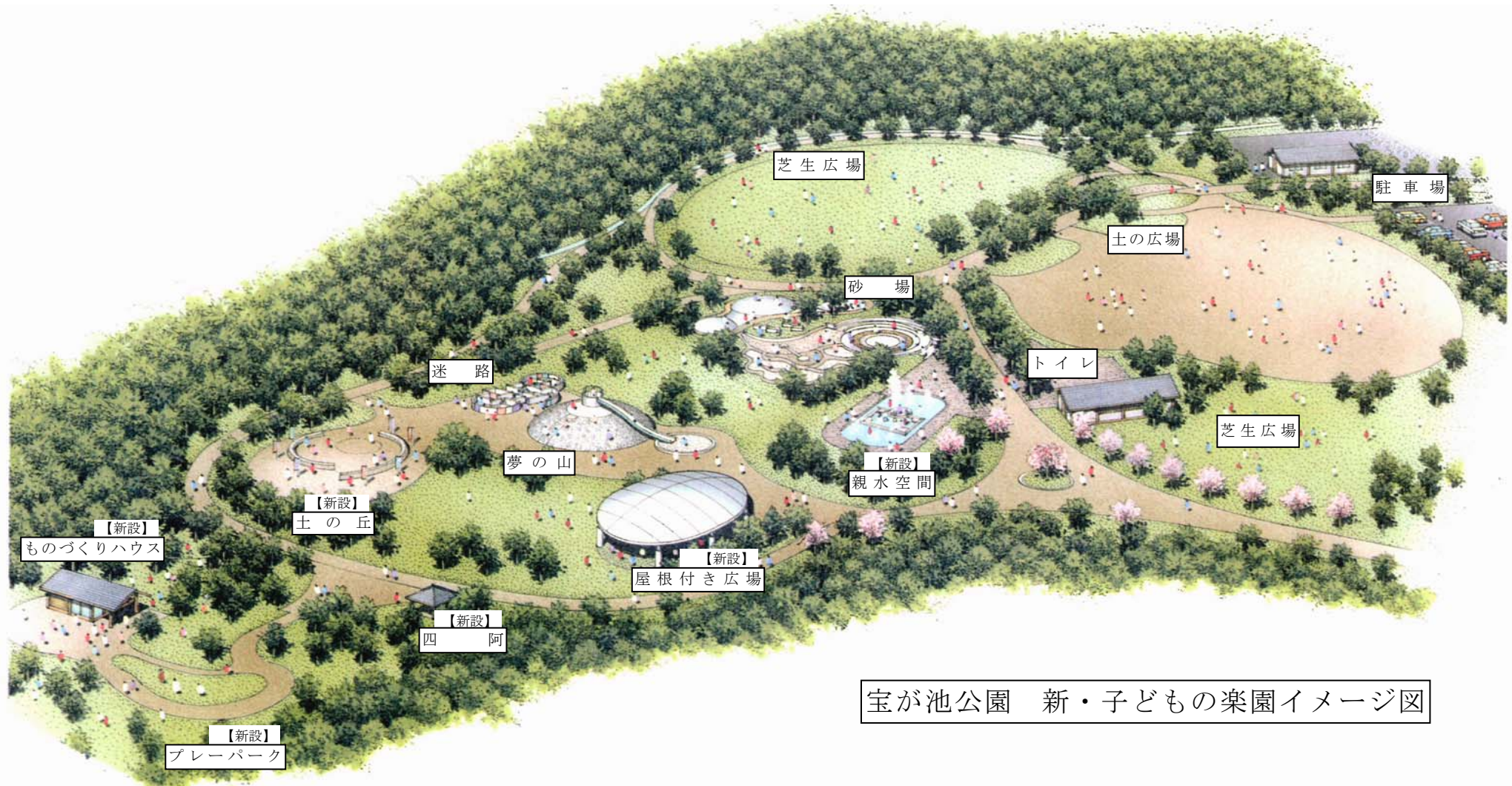
※3 ネイチャーゲーム

- ・ 1979年，米国のナチュラリストであるジョセフ・コーネル氏により発表された自然体験プログラム
- ・ 子どもたちが，様々なゲームを通して自然の不思議や仕組みを学び，自然への理解や豊かな感受性を育む。
- ・ ネイチャーゲームの代表例

散策しながら，言葉なしで自分の感じたことを伝え合う「サイレントウォーク」
聴診器で木の中から聴こえてくる音に耳を傾ける「木の鼓動」
虫眼鏡と糸を使って，足元に広がるミクロの世界を探検する「ミクロハイク」

【参考2】現在の宝が池公園「子供の楽園」施設概要

開 設	昭和39年5月5日
主 な 施 設	幼児コーナー，トランポリン，夢の山，迷路，ちびっこプール 等
入 園 料	無料
年間利用者数	約23万人
開 園 期 間	1月4日～12月28日 午前9時から午後4時半まで ただし，4～9月の日・祝日は9時から午後5時まで



宝が池公園 新・子どもの楽園イメージ図